

圧縮機2台の処理報告書・2002年6月10日

圧縮機PKS-3,5・PKSD-5,25： 設備の分解不要で 吐出し量が増加

処理実施者：ストロイ・セルヴィス科学技術センター有限責任会社（ボルゴグラード）、署名・押印・発注者側の報告書署名者：修理建設部門の機械保全担当者

ロシア・2002年6月10日付の報告書2通

製品

圧縮機用XADO処理剤
報告書での表記は「XADO技術」、
各部を分解せずに実施する処理

試験対象

圧縮機2台
PKS-3,5・PKSD-5,25・処理前は
2台とも摩耗状態

文書の種類

署名・押印入りの
処理報告書2通
圧縮機1台につき報告書1通、同一
日付

圧縮機	処理前の状態	測定項目
PKS-3,5	摩耗・7 kgf/cm ² までの昇圧時間35 s・潤滑油圧力2 kgf/cm ²	7 kgf/cm ² （ゲージ圧）までの昇圧時間・潤滑油圧力
PKSD-5,25	摩耗・7 kgf/cm ² までの昇圧時間20 s・潤滑油圧力1 kgf/cm ²	同上

報告書には吐出し量のメーカー規定値と圧縮機の運転時間が記載されていない。比較は同一機における処理前後の測定値に基づく。

主な結果

↑ **75 %**

PKS-3,5の吐出し量、7 kgf/cm²までの昇圧時間35 → 20 s

↑ **43 %**

PKSD-5,25の吐出し量、7 kgf/cm²までの昇圧時間20 → 14 s

↑ **1-2 kgf/cm²**

潤滑油圧力、1~2 → 3 kgf/cm²、両圧縮機とも

処理前後の測定値（圧縮機2台）

圧縮機	測定項目	処理前	処理後	変化量
PKS-3,5	7 kgf/cm ² （ゲージ圧）までの昇圧時間	35 s	20 s	-15 s
PKS-3,5	潤滑油圧力	2 kgf/cm ²	3 kgf/cm ²	+1 kgf/cm ²
PKSD-5,25	7 kgf/cm ² （ゲージ圧）までの昇圧時間	20 s	14 s	-6 s
PKSD-5,25	潤滑油圧力	1 kgf/cm ²	3 kgf/cm ²	+2 kgf/cm ²

処理実施者の結論では、吐出し量の増加はPKS-3,5で70%、PKSD-5,25で43%である。昇圧時間から再計算すると75%および43%となる。

報告書の結論

2台の圧縮機はいずれも処理前の時点で摩耗していた。PKS-3,5の運転圧力**7 kgf/cm²**までの昇圧時間は**35 s**であり、PKSD-5,25の潤滑油圧力は**1 kgf/cm²**を維持していた。各部の分解は不要であった。処理実施者は各圧縮機についての結論に、「XADO技術による本圧縮機の処理後、圧縮機の吐出し量は**70%増加した**」（PKS-3,5）および「**43%増加した**」（PKSD-5,25）、「これは摩耗した部品が再生したことを意味する」と記載し、「寿命および修理間隔を延長するため、同種の設備を処理すること」を推奨した。運転圧力までの昇圧時間は2台とも短縮され、潤滑油圧力は2台とも**3 kgf/cm²**まで上昇した。

XADO

© XADO. 無断転載・複製を禁じる。

本結果は2002年6月に処理した圧縮機PKS-3,5およびPKSD-5,25に関するものであり、他の設備や運転条件では測定値が異なる場合がある。処理の実施と効果の大きさに関する結論の作成は、同一の処理実施者であるストロイ・セルヴィス科学技術センター有限責任会社が行った。署名・押印入りの報告書2通の原本は全文が公開されており、ダウンロードが可能である。